

ながと 市議会だより

Nagato City Council

12

月定例会

No.71

2024（令和6年）2/1



INDEX

▶ 12 月定例会		2 ～ 4	ページ
▶ 一般質問		5 ～ 10	ページ
▶ 議会報告会		11	ページ
～まちかどトーク～			
▶ 第3回臨時会		12	ページ
▶ 要望的意見		13	ページ
▶ 所管事務調査		14 ～ 15	ページ

再選の 江原 達也 市長

2期目の市政運営で5つの挑戦



江原市長は2期目の任期を迎えた初めての議会
で、これからの市政運営についての所信を表明し
ました。選挙で公約した「5つの挑戦」を重点施
策に位置付け、市民や民間事業者、行政が一丸と
なった「オール長門」で取り組んでいく考えを示
しました。

重点施策1

切れ目のない
一貫した子育て支援

主な取り組み

- 小・中学校における給食費無償化
- 高校生を対象とした医療費助成の所得制限の撤廃
- 3歳未満児の保育料無償化
- 乳児預かり支援の充実

重点施策4

観光地ブランドの深化

主な取り組み

- アウトドアツーリズムの推進
- 大羽山地区における小さな拠点づくり、俵山温泉街の活性化
- センザキッチンを起点とした周遊観光促進、滞在時間延長や外貨獲得に向けた稼ぐ力の増進
- 東アジア圏をターゲットとした外国人観光客の誘致

重点施策2

誰もが「健幸」で
安心して暮らせるまちづくり

主な取り組み

- デマンド交通の利便性向上、買い物支援サービスの対象範囲拡大
- 福祉タクシー助成の対象者拡大
- 地域医療提供体制や福祉支援体制の充実強化
- 移住・定住支援の充実強化

重点施策5

災害に強い基盤の構築

主な取り組み

- 道路や橋りょう、河川の計画的な整備
- 山陰自動車道の全線開通に向けた要望活動
- 災害等危機事象に対する市役所の即応体制の整備
- 防災意識を高める啓発、自助・共助・公助の連携に向けた仕組みづくり

重点施策3

地域経済の活性化

主な取り組み

- あらゆる分野を対象とした企業誘致の促進
- 市内産食肉の安定供給及び耕畜連携、耕作放棄地の解消
- 林業の成長産業化促進のための生産体制の早期確立
- 持続可能な水産業の創出

12月 定例会

一般会計 補正予算

給付金・優待券等により 市民・事業者への支援を

12月定例会を12月11日（月）から12月27日（水）までの17日間の会期で開きました。総額15億3,333万3,000円の一般会計補正予算（第9号、第10号）をはじめとした31議案の審査を行い、議案第14号「長門市議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例」を除く議案を原案のとおり可決しました。

予算決算委員会

一般会計補正予算（第9号、第10号）については予算決算委員会で審査を行いました。

住民税非課税世帯等に対する
価格高騰重点支援給付金給付事業
3億7970万円

エネルギー・食料品価格等物価高騰の影響による負担増を踏まえ、特に物価高騰の負担感が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯等）に対して、これまでに1世帯あたり3万円の生活支援を行いました。これに7万円を追加し、1世帯当たり合計10万円を支援するものです。

問 給付世帯数及び非課税世帯以外の対象者を尋ねる。

答 非課税世帯5300世帯、その他の世帯30世帯を見込んでいます。非課税世帯以外につ

いては、家計急変世帯、配偶者などからの暴力等を理由に避難している方、措置入所等児童・障害者・高齢者、ホームレス、無戸籍者が対象となる。

問 給付までの申請手続き及び期間について尋ねる。

答 非課税世帯に対しては、あらかじめ市で対象となる可能性のある世帯を抽出し、支給要件を確認するための確認書を年内に郵送することとしている。支給要件に該当する場合は返信用封筒で確認書を提出していただき、市で受理した後、1カ月以内に指定口座に入金することとしている。また、非課税世帯

以外の家計急変世帯等に対しては、市に備付けの申請書を提出していただき、市で受理した後、1カ月以内に給付することとしている。いずれも令和6年3月8日を書類の提出期限として設定する予定としている。

ぶちとくながと生活優待券 第二弾発行事業 9273万円

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加分を活用し、ぶちとくながと生活優待券第二弾発行事業として、エネルギー・食料品価格等、物価高騰に直面する市民の生活を支援するとともに、市内消費拡大を図ることを目的に、額面1000円の生活優待券5000円分を市内全世帯に配布するものです。優待券の発行などの準備等を考慮し、3月1日からの使用開始を想定しています。

問 電子チケットとの併用について尋ねる。

答 市内の高齢化率が40%を超えている中、紙の券として配布するほうがトラブルもなくスムーズに事業が進むのではないかと、今回もこういった形で対応することになった。

12月定例会議決結果

議案番号	件名	結果
1	令和5年度長門市一般会計補正予算（第9号）	原案可決
2	令和5年度長門市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
3	令和5年度長門市湯本温泉事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
4	令和5年度長門市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
5	令和5年度長門市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
6	令和5年度長門市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
7	令和5年度長門市下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
8	長門市犯罪被害者等支援条例	原案可決
9	長門市教育委員会の職務権限の特例に関する条例	原案可決
10	長門市部課設置条例の一部を改正する条例	原案可決
11	長門市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
12	督促手数料廃止に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
13	長門市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
14	長門市議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	原案否決

議案番号	件名	結果
15	長門市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
16	長門市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
17	長門市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
18	長門市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
19	長門市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
20	長門市火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決
21	長門市地域福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決
22	長門市児童デイ・ケアセンターの指定管理者の指定について	原案可決
23	長門市幼稚園の指定管理者の指定について	原案可決
24	長門市水産多目的集会所の指定管理者の指定について	原案可決
25	木育推進拠点施設 長門おもちゃ美術館の指定管理者の指定について	原案可決
26	青海島高山オートキャンプ場の指定管理者の指定について	原案可決
27	伊上海浜公園オートキャンプ場の指定管理者の指定について	原案可決
28	公設自動車置場の指定管理者の指定について	原案可決
29	長門市依山公民館の指定管理者の指定について	原案可決
30	下関市・美祢市消防通信指令事務協議会への加入について	原案可決
31	令和5年度長門市一般会計補正予算（第10号）	原案可決
報告 1	専決処分の報告について（自動車事故に係る損害賠償の額を定めることについて）	—

議員の期末手当増額に賛否分かれる

▶ 議案第 14 号 長門市議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

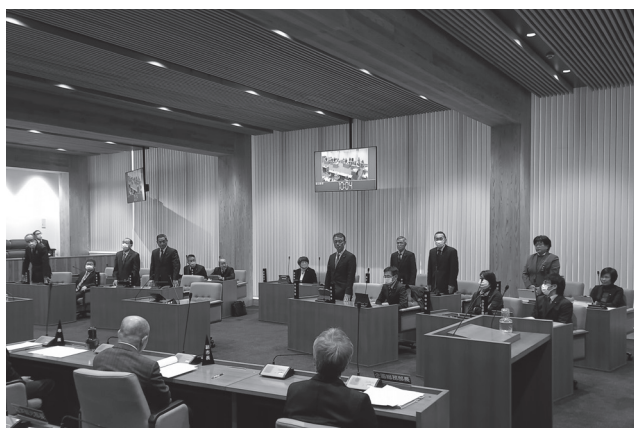
議案第 14 号は、人事院勧告を受けて給与改定を行った国に準じた形で、議員の期末手当等に関する条例の一部を改正するものです。改正した場合、議員の期末手当が 0.05 カ月分（一人当たり平均約 2 万円）引き上げられます。

討論では委員から「長門市議会議員の定数及び報酬並びに政務活動費等について長門市議会のあるべき姿を調査・研究し、提案を行うために議員定数等調査特別委員会を立ち上げ、現在、市民か

らの意見聴取や各種団体との意見交換、資料収集や委員会討議、議員間討議など様々な活動を行っている。この特別委員会の調査・研究などが終わっていない段階で、たとえ 0.05 カ月分であっても期末手当の引上げに市民の理解を得ることはできない」との反対意見があり、総務産業委員会では賛成少数で否決すべきものと決定しました。また、本会議においても反対討論が行われ、以下の表のとおり期末手当引上げに対して賛成少数となり、否決されました。

■ 議案第 14 号に対する採決結果

所属	総務産業 委員会							文教厚生 委員会							採決結果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
氏名	田村大治郎	松岡秀樹	重廣正美	重村法弘	吉津弘之	有田茂	早川文乃	西村良一	田中千秋	綾城美佳	米弥又由	林哲也	岩藤睦子	中平裕二		上田啓二	江原健二	ひさなが信也																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
本会議	反対	賛成	反対	反対	反対	賛成	賛成	賛成	反対	反対	反対	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	



観光スポーツ文化部を新設

▶ 議案第 10 号 長門市部課設置条例の一部を改正する条例

議案第 10 号は、令和 6 年 4 月 1 日付けで組織を改編することから、所要の改正を行うものです。

委員会の審査では、委員から「教育委員会との事務移管に関する協議」について質疑があり、執行部から「検討委員会等での意見を踏まえ教育委員会会議で議論を行い、市長部局で市全体として

取り組みを進めていく」との答弁がありました。

また、「組織改編に伴う市長部局の部課及び管理職の増」について質疑があり、執行部から「組織改編により市長部局において部が 5 から 6、課が 21 から 22 となる。管理職については全体の中で考えて調整する」との答弁がありました。

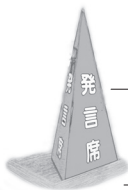
産前産後期間を対象に保険料減額

▶ 議案第 19 号 長門市国民健康保険条例の一部を改正する条例

議案第 19 号は、国民健康保険法及び同法施行令が改正されたことに伴い、産前産後期間において出産被保険者に係る被保険者所得割額及び均等割額を減額することについて、所要の改正を行うものです。

委員会の審査では、委員から「減免手続き」に

ついて質疑があり、執行部から「原則、申請が必要であるが、総合窓口課において、出生届が提出され把握できたものは減免を適用する」との答弁がありました。なお、施行期日は令和 6 年 1 月 1 日のため、令和 5 年 12 月以前の保険料は対象になりません。



一般質問



MATSUOKA HIDEKI

松岡 秀樹
議員

公約「5つの挑戦」を
確実に市政運営へ反映する

問 重点施策「5つの挑戦」にかける市長の思いとは。

答 「5つの挑戦」を連携し展開することで、経済活動規模縮小、地域の担い手不足など、危機的人口減少を克服するための対策を講じていく。そのためには、様々な立場の方々と対話を重ねながら、「オール長門」で取り組む。

問 挑戦①「切れ目のない一貫した子育て支援」である学校給食費の無償化への取り組みは。

答 恒久的に多額の財源が必要となる。「選択と集中」の観点から、施策の優先順位を見極めながら、業務の効率化に向けた事務事業の見直しを図るとともに、国や県の補助事業の活用による財源確保の徹底など、行財政運営に取り組み、限られた財源を再配分することで実現させていく。

▼若者に選ばれる職場を。IT 拠点整備予定地。



問 挑戦③「地域経済の活性化」では、IT拠点の整備によりどのような効果があるのか。

答 IT関連企業等の集積拠点の整備は、三隅地区の旧山口福祉専門学校跡をリニューアルし、現在、令和7年度中の完成を目指している。

若者が活躍する産業づくりのためには、10年先を見据え、市内産業の特長を生かした若者に選ばれる職場の創出が重要である。

IT関連企業を誘致し、市内企業と有機的なつながりを強化することで、市内産業のDX化の促進及び生産性の向上を図り、新たに雇用を創出し、若者の市内定着を促進するための中核的施設として整備する。



HAYASHI TETSUYA

林 哲也
議員

2期目の市政運営は

問 何を争点に市長選挙に臨み、選挙結果をどう受け止めているのか。

答 4年間の実績に加え、ふるさと長門の土台を盤石にするため「5つの挑戦」を公約に掲げ、「住みたい、住んで良かった、これからも住み続けたい」と思えるまちの創出に全力で取り組むことを訴えてきた。このたび、市民の信任を得ることができ、1期目のまちづくりに対する評価をいただいたものと考えている。

問 1期目の評価と課題を踏まえ、2期目の市政運営に対する基本的な姿勢を尋ねる。

答 1期目の取り組みを発展・深化させることで、人口減少下でも持続可能なまちづくりの土台を築いていき、市民や民間事業者、行政が「一丸となり「オール長門」で市政運営に取り組んでいく。

▼手話通訳者を交えて所信を述べる江原市長



問 次年度の予算編成にあたり、新たにどういった施策を反映させる考えなのか。

答 人口減少という危機的な課題を克服するためには、若者の定着と回帰に向けた取り組みが最も重要で必要不可欠であり、子どもを育てる経済的・精神的負担の解消や雇用促進につながる施策を最優先に実現させていきたい。

問 子育て支援の具体的な施策について尋ねる。

答 小・中学校の給食費の無償化や子ども医療費助成制度の完全無償化については、担当課に早急に検討するよう、指示を出しているところである。



農業を持続可能な産業へ

問 人口減少、少子高齢化が進んでいく中、本市農業をいかにして持続していくのか。

答 若者を担い手として確保するため、県農業大学校への進路に対する優遇措置や卒業後の進路として集落営農法人等につなげる支援策の構築を進めている。また、農業のスマート化による農作業の効率化・省力化を進め、誰もが参画でき、高齢者でも続けることができる農業体系の構築をしていく。

問 スマート農機具の普及は進んでいるとは言い難い状況にあると感じている。普及や導入について、市の見解を問う。

答 スマート農機具の導入に関して、農業者の負担が大きいいう課題がある。市としては、スマート農機具を操作するオペレーターの育成等への支援や、業務の省力化、効率化ができる仕組みを

構築できるように協議・検討をしていきたい。

問 草刈作業において、急な法面での作業は大変危険である。足場となるステップ板の購入補助や、法面を削って足場を作るための支援は考えられないか。

答 日本型直接支払制度を活用し草刈り業務に係る備品を購入されるなど、各地区で対策を講じており、市としては同制度を活用してほしい。また、この草刈作業も、いずれは人の手ではなく、すべて機械が行うことができるような開発等を民間企業に研究していただくよう、未来農業創造協議会・スマート農業推進部会の中で提案していきたい。

▼圃場整備したところの急な法面



子育て支援策実現に向けて

問 所信表明で具体的な施策として、小中学校の給食費無償化、子ども医療費助成における所得制限撤廃、3歳未満児の保育料無償化が挙げられているが、事業実施時期の見通しについて尋ねる。

答 学校給食費無償化及び子ども医療費助成の所得制限撤廃は、できるだけ早い時期に開始できるように進めている。3歳未満児の保育料無償化は、これから制度設計に向けて検討を始める。

問 子育て支援策の充実を図るためには、今後もニーズの把握が必要である。大分県豊後高田市では「花っこルーム」という子育て支援拠点があり、保護者や子どもの声を政策に反映しやすい環境が整っている。長門市も、そういった環境整備を検討してはどうか。

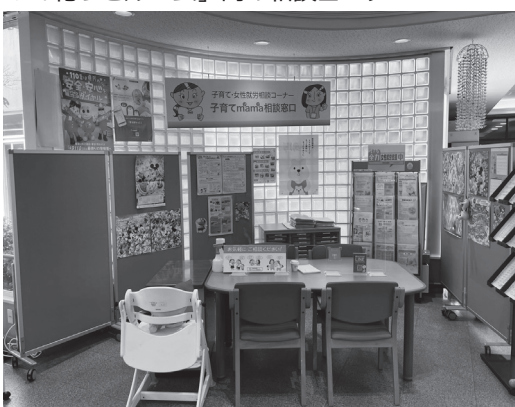
答 子育て支援に関する機能を集約した建物の整備は考えてい

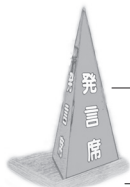
ない。令和7年度設置予定のことも家庭センターを中心に、意見や要望を把握できる仕組みづくりに努めていきたい。

問 市役所の窓口では、日常のささいな困りごとをなかなか相談できないという声を聞いている。こども家庭センターをこれから整備していくのであれば、国が示すままに設置をするのではなく、ここに子育て世代の日頃のささいな疑問や要望を聞くことのできる機能を持たせてはどうか。

答 令和6年度において、こども家庭センター設置準備室を設け、日常のささいな困りごとと話す体制や環境について、しっかりと検討していきたい。

▼「花っこルーム」内の相談コーナー





一般質問



YONEYA MATAYOSHI

米弥 又由
議員

持続可能な地域公共交通 ネットワークの構築は

問 市長は、これまで取り組んできた「地域公共交通対策」についてさらに発展させ、デマンド交通の利便性向上により、市民が安心して暮らせる生活基盤を充実させるとしているが、具体的にどのように考えているのか。

答 地域公共交通を取り巻く環境は、厳しく、課題が山積しているが、皆様のご意見をいただき、各地区の利用実態やニーズを的確に把握し、運行事業者と協議の上、対応できることから随時見直ししていく。

問 「デマンド交通」の料金体系において、距離が異なるにもかかわらず料金が変わらないといった不満の声を聞くが、料金の見直しは検討されるのか。

答 デマンド交通における料金は、距離制ではなく地区単位

でのくりであり、一部から見直しの声をいただいている。長門市公共交通協議会に諮り決定したものであるが、指摘を踏まえて今後、料金の見直しを検討していく。

問 現在、夜間に営業しているタクシー会社がなくなり、市民から困っていると聞く。問題となっている運転手等の確保のため、運営費を助成することはできないか。

答 夜間タクシーの問題は、「利用者が少ない」「深夜枠の運転手を確保することが困難」であると確認している。市として運営費自体を助成することは困難であるが、深夜の利用状況等調査をし、夜間タクシーに対する支援策について研究していく。

▼デマンド交通利用風景



ARITA SHIGERU

有田 茂
議員

危機迫る長門市農業

問 我がまちのこれからの農業振興について尋ねる。

答 これまで、未来農業創造協議会の各専門部会では、「スマート農業の推進」「担い手の確保・育成」「農産物の販路拡大」「有機農業等の推進」に資する施策を協議・展開してきた。さらに本年度、新たに「畜産振興部会」を加え、畜産振興に資する施策を協議・展開している。これらの取り組みを柱に、新しい農業体系の確立を図る。

問 水稲に係る農業経営を行っていく上では、様々な問題があるが、後継者・担い手の確保について市の対策を尋ねる。

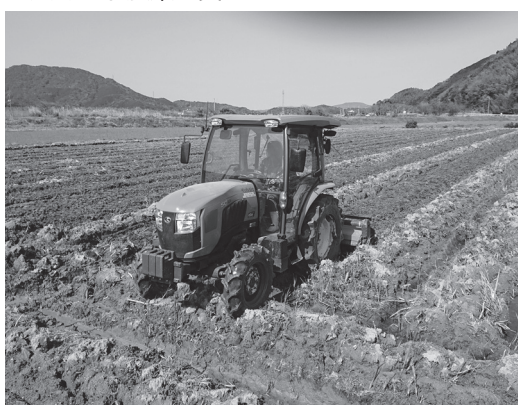
答 未来農業創造協議会・担い手育成部会において、集落営農法人への人材確保支援や、県農林水産事務所及び県農業大学校等と連携した人材の確保に係る仕組みづくりを協議している。現在、長

門大津地区農業法人連絡協議会による農業大学校への就業あっせん活動や、農業大学校の生徒と地元若手農業者との意見交換会等が実施されており、市としても手厚い支援策を構築していく。

問 楽天農業の現在の活動内容について尋ねる。

答 協定締結時から話のあった三隅地区の農地約7.3haを畑地化され、令和5年10月に有機JAS認証を取得し、サツマイモ約176トンが収穫された。この収穫されたサツマイモは、今年度、有機農産物として学校給食に提供されている。また、令和5年11月には本市の認定農業者として認定されている。

▼スマート農業の実証





**法改正に対応した
合理的配慮の促進を**

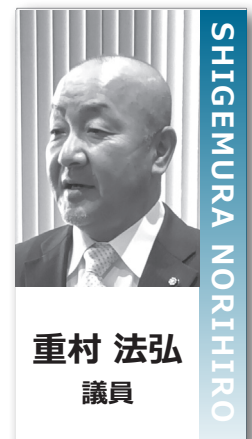
問 今回の選挙結果をどのように評価し、今後の市政運営に努めていけるのか。選挙公約の「5つの挑戦」には多額の財源が必要となるが、今後どのような市政運営をされる考えなのか。

答 1期目におけるまちづくりとコロナ禍において必要な対策を最優先に講じてきたことが、市民から一定の評価をいただいた。今後は1期目の取り組みをさらに発展・深化させていきたい。これからは市民や民間事業者、行政が一丸となった「オール長門」の先頭に立ち市政運営を担っていく。また、選択と集中の観点から事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底し、業務の効率化に向けた事務事業の見直しを図り、ふるさと納税の拡大や、国・県の補助事業の活用による財源確保などを行い、効果的な行財政運営に取り組んでいく。

問 令和6年4月1日から、事業者による障害のある人への合理的配慮の提供が義務化される。今後は、民間事業者にとってもハードやソフトの両面から合理的配慮に関する具体的な対応が求められるが、今回の法改正に民間事業者が対応できるように公的助成を制度化してもらいたいがどうか。

答 現在、策定中の第4期障害者プランでは、特に事業者における障害のある人への合理的配慮の提供について、しっかりと周知することにより、当たり前の生活を当たり前行える社会を目指していきたい。民間事業者への合理的配慮に関する公的助成の制度化については、他自治体事例を調査し、前向きに検討していきたい。

▼別府市役所で合理的配慮等について視察



**山間部で暮らす
市民への施策は**

問 市長は新たに4年間市政を預かるトップとして市民の負託を受けたが、選挙戦を通じて山間部で暮らす市民の生活は市長の目はどう映ったのか、どう寄り添い守っていくのか。まず、山間部の市道についての見解は。

答 山間部の市道の保守、維持管理については多くのご意見を伺っている。山間部の市道は小規模かつ地域住民の方々の日常生活に密接に関連している。地域住民のご協力を得ながら山間部、市街地の区別をすることなく緊急性を判断した上で、適切な保守、維持管理に努めていきたい。

問 市街地から遠隔地で生活する市民の交通手段の確保について、どのように考えているのか。

答 市内全域へのデマンド交通導入は完了したが、さらなる利

便性の向上に取り組んでいく。また市街地までの直行便についても、そのニーズ等を調査し、導入について研究していく。

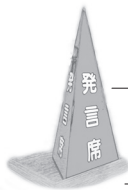
**個別浄化槽設置世帯への
支援策は**

問 下水道事業外区域における浄化槽設置世帯への維持管理支援策が必要との認識は、すでに2年前に示されているが施策の検討は進められているのか。

答 先進事例等を調査しながら制度設計について検討を進めている。公共下水道の使用料改定を審議会へ諮問し、その答申を踏まえ、下水道使用料の見直しに合わせて対応を検討していく。

▼支援施策が検討されている個別浄化槽





一般質問

組織改編の意義は



IWAFUJI MUTSUKO

岩藤 睦子
議員

問 生涯学習・文化財課が所管する一部の事務が、スポーツ文化交流課に移管されるが、長門市文化振興財団との今後の関係性と部活動地域移行準備室を設置する効果について市の考えを問う。

答 長門市文化振興財団に委託している5施設は、これまでは観光政策課が所管し、事業や施設の運営、維持管理等の確認や助言、指示を行ってきた。これからはスポーツ文化交流課が所管となるが、これまで以上に連携し、観光と一体的に事業を進めることで、関係人口の増加や交流促進につなげていく。

部活動地域移行については、これまででは教育委員会を中心に推進してきたが、市長部局に準備室を設置することで、指導者や地域の方々、各種スポーツ団体、さらには市民活動団体との連携をより深め、市を挙げて推進することが可能となり、地域全体で子どもたち

のスポーツ・文化芸術活動を支えていく仕組みを構築できるものと考えている。

問 ラポールゆやの管理及び運営に関する事務をスポーツ文化交流課に移管する理由は。

答 ほかの文化施設と合わせて所管することにより、事業の連携が強化され、より一層、文化交流の促進が図られると考える。

問 今後、長門市文化振興財団に託される計画があるのか。

答 指定管理者制度を導入する場合、原則公募により選定することになると考えている。

▼文化交流の促進が期待されるラポールゆや



TAMURA DAIJIRO

田村大治郎
議員

交通弱者に寄り添った地域公共交通の検討を

問 長門市の公共交通の課題と今後の見通しは。

答 令和4年10月をもって、市内全域にデマンド交通の導入を完了し「公共交通空白地域」の解消を図った。人口減少による利用者数の減少に加え、市内交通事業者の運転手不足への対応や、燃料費高騰への対応等、ますます厳しいものになる。社会情勢の変化も見極めながら、それぞれの地域に適した持続可能な地域公共交通ネットワークを構築していく。

問 交通関係の部署を統合して運営するほうが効率的では。

答 福祉・教育・観光分野に分けたほうが、より効率的に事業が実施できることから、担当課割の変更は考えていない。各担当課間はこれまでと同様に調整・協議等しつかり連携して対応する。

人口減少対策としての子育て支援のさらなる充実を

問 環境整備及び支援の内容はどのようなものか。

答 学校給食費の無償化の着手、こども医療費助成の所得制限の撤廃、こども家庭センター設置等、安心して子どもを産み育てることができ環境や支援体制の充実に全力で取り組む。

問 人口減少問題に対する将来の道筋をどう描くか。

答 若者の定着と回帰に向けた対策で、将来のまちづくりの方向性を見出し、長門市の将来像を「オール長門」で描いていきたい。

▼のろっちゃん（デマンド交通）乗降場所



一般質問



現小学6年生への配慮を

問 長門市における中学校の部活動地域移行について、11月に素案が提示されたが、令和6年度から中学生になる子どもの保護者から問い合わせがあった。

まず、小学時代に行っていた競技が入学予定の指定中学校にない場合、それを理由にその競技がある中学校への入学を希望できる制度について尋ねる。

答 部活動を理由に指定中学校と異なる中学校への入学を希望する場合は、「就学指定校変更」の申請をし、教育委員会が許可する制度となっている。小学6年生児童については、就学通知を1月初旬に送付し、申請期限を1月末としている。

問 現小学6年生は、中学2年時から、就学指定校を変更せず令和6年度から他校の部活動に参加することが可能にならないか。

答 移行までは学校管理下で部活動を行い、生徒に対する責任は、在籍する学校にある。また、中体連の大会は学校対抗であり、部活動として参加する場合、異なる学校からの参加やチーム登録は原則できない。よって現行制度上は異なる学校からの部活動参加はできないと考える。

問 民間が作ったスポーツクラブはNAGATOSポーツ・カルチャークラブ（通称Nクラ）に加入できるか。

答 現在、民間で任意設置された団体を取り込むことは想定していないが、今年度から中体連へ申請し、認可された団体は中体連の大会に参加できるようになった。

▼部活動地域移行について

体制等の素案の説明については
こちらから

素案についてのご意見はこちらから

クラ



子育て支援策の充実を

問 全国に誇れる魅力ある長門市の創生に向けて、若い世代の人たちが家族を増やしたいと思えるような子育て環境の改善が必要だと考えるが、その課題や施策についてどう考えているのか。

答 「切れ目のない一貫した子育て支援」の取り組みについては、市民ニーズとの調整を絶えず図りながら発展・深化させ、本市にとって真に必要な支援策を見極め、推進していく。そうすることで、「住みたい」「住んで良かった」「これから住み続けたい」と心から思っていただけるまちの創出につながるものと考えている。

問 多子世帯への行政の厚い支援が大変重要だと思うがどう考えているのか。

答 多子世帯への支援は必要であるとの認識を持っているが、まずは第1子目を産み育てる環境

を整え、出生者数の増加を目的に各種施策を充実させていきたい。

問 家庭の経済状況によって学習機会、教育の機会が損なわれることのないよう、多子世帯や支援が必要な家庭への学習塾やスポーツ、文化・芸術などの習い事の助成をしてみてもどうか。

答 人口減少問題の解決策として、多子世帯の支援が重要であることは十分認識している。しかし、限られた財源の中で施策を展開するためには、「切れ目のない一貫した子育て支援」を中心に据え、「誰一人取り残されない社会」の視点のもと、まずは、子どもたちの日常生活が損なわれない施策を推進していきたい。

▼習い事助成の検討を



まちかどトーク

令和5年度

市民と議員が語る議会報告会

市内
6会場で
開催しました

令和5年度の議会報告会は6グループに分かれ各自治会において開催しています。11月発行の「議会だより9月定例会号」の内容に沿って6会場で報告会を行いました。寄せられたご意見、ご要望、ご提案の一部を紹介いたします。いただいた声は今後の議会活動の参考にさせていただきます。



通 15 区自治会（通地区）

11/20

- ・マグロの養殖について、住民説明会を開催してほしい。
- ・夜は道路が暗くて危険なので、防犯灯のLED化の補助を要望する。
- ・移動販売を使いたいが、時間が限られていて不便。
- ・病院に行くバスの便が少ない。
- ・県道の木の枝が覆いかぶさって危険。



東坂本自治会（日置地区）

11/1

- ・デマンド交通の利用料を市内一律300円くらいに設定できないか。
- ・J R美祢線、山陰線の雑草除去等の管理や復旧をお願いしたい。
- ・在宅で訪問医療、看護が受けられるよう訪問医の確保が必要ではないか。
- ・生活道として利用されている林道の管理ができていない。

日置中村自治会（日置地区）

11/24

- ・市役所内に設備管理者などの技術職を採用すべきではないか。
- ・職員採用の応募者が少ないことを知らなかった。今後は広報紙などで採用状況や職員募集の情報を毎月掲載するべきではないか。
- ・地域での草刈りの時、草刈機の替え刃などを支援してほしい。

人丸自治会（油谷地区）

11/22

- ・市道にかかる木が生い茂っていて緊急車両への影響があった。
- ・魚を他地域の友人に送りたい。魚を買って発送できるシステムが必要。
- ・地元の人が、地元の資源の魅力を知る機会が必要だと思う。
- ・観光客が市内の観光地を周遊していないと感じる。

辻並自治会（三隅地区）

11/30

- ・携帯電話がつながりにくいため携帯電話基地局の設置を要請してほしい。
- ・鳥獣による農作物被害で営農意欲が低下する。総合的な鳥獣対策が必要。
- ・辻並川に繁茂する樹木の伐採を実施してもらいたい。
- ・ごみの散乱防止のため収集車の荷台のネットをしっかりと張ってほしい。

境川自治会（深川地区）

11/25

- ・自治会内の河川の浚渫工事を急いでほしい。
- ・只の浜にある大量流出ごみの撤去をしてもらいたい。
- ・猪・鹿対策での防護柵の老朽化対策と新規設置が必要だと思う。
- ・道に樹木が覆いかぶさり救急車等の走行が不可能なため伐採してほしい。

第3回 臨時会

9月定例会の最終日(9月29日)に追加提案された令和4年度の各会計決算議案は各常任委員会に付託し、議会閉会中の継続審査を実施しました。

10月24日の第3回臨時会では令和4年度の決算議案5議案を認定し、新たに提案された1議案についても可決しました。

監査委員の長門市一般会計及び特別会計歳入歳出決算並びに基金運用状況審査意見書には「令和4年度決算は、厳しい財政状況が続く中、『第2次長門市総合計画後期基本計画』の初年度において、3つの重点施策『市民目線のまちづくり』『生活基盤の充実によるまちづくり』『地域経済の活性化によるまちづくり』等の推進により、新型コロナウイルス感染症対策や地域経済の活性化などに取り組まれ、その財務処理もおおむね適正であると認められた」としています。

一方で「しかしながら、燃油等物価の高騰や、

人口減少、少子高齢化等による市税の減収など、依然として本市の財政を取り巻く環境は大変厳しい状況にある中で、ポストコロナにおける潮流を的確に捉え、多様化する市民ニーズや地域課題に的確かつ迅速に対応し、必要な行政サービスを将来にわたり提供できるよう、限られた財源や人材等を最大限に活用し、施策や事業のスクラップ・アンド・ビルドを進めるとともに、住民の福祉の増進に努め、最少の経費で最大の効果を挙げるよう、効率的かつ効果的な事業執行に努められたい」と指摘しています。

▼ 10月19日予算決算委員会の様子



予算決算委員会の主な質疑答弁

問 市有財産利活用事業において、老朽化した遊休施設を解体する際の優先順位は。

答 長門市公共施設等総合管理計画第2次アクションプランに基づき実施する。旧川尻小学校については、川尻体育館利用者等の安全確保のため、優先的に解体撤去を行った。

問 定住促進対策事業において、移住者数の増加に関し、本市が選ばれる理由及び見解は。

答 長門市の自然や人、雰囲気の魅力を感じて来られる方

が多い。各種補助金等支援制度の充実、情報発信ツールの活用等により増加につながった。

問 地域子育て支援センター事業において、利用者数の減少理由及び関係機関との連携は。

答 出生者の減少や低年齢での就園希望をする保護者もいることから利用者数が減少した。ファミリースポーツセンターによる預かり保育を試行的に支援センターで実施し、両サービスの利用促進となる取り組みを実施した。

問 有害鳥獣捕獲・駆除・被害防止等対策事業において、ジビエの利用促進と受入れ施設の充実に関する取り組みと課題は。

答 処理加工施設の廃棄物処理にかかる経費の一部を補助することで、ジビエの利用促進を図った。市内飲食店でのジビエ活用を推進することが課題である。

問 コロナ禍における燃油価格・物価高騰対策事業において、事業全体の総括は。

答 市民及び事業者の経費の負担軽減、中小事業者に対する支援や市内消費者の需要喚起等ができたと考えており、地域の活性化には一定程度寄与した。

■ 第3回臨時会議決結果

議案番号	件名	結果
9月定例会 20	令和4年度長門市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
9月定例会 21	令和4年度長門市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
9月定例会 22	令和4年度長門市湯本温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
9月定例会 23	令和4年度長門市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
9月定例会 24	令和4年度長門市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
1	工事請負契約の締結について(仙崎公民館建築工事)	原案可決

■ 令和4年度 各会計決算額

(単位：千円)

会計名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
一般会計	23,301,595	21,569,962	1,731,633
国民健康保険事業	5,296,085	5,041,739	254,345
湯本温泉事業	13,006	13,006	0
介護保険事業	4,268,008	4,147,911	120,097
後期高齢者医療事業	728,915	711,399	17,516
合計	33,607,612	31,484,019	2,123,593



令和5年9月定例会に提出された令和4年度決算議案については、予算決算委員会、総務産業委員会及び文教厚生委員会を開催し、それぞれが所管する会計について審査を行い、すべて認定しました。

決算に係る下記23項目の要望的意見について、総務産業委員会及び文教厚生委員会から提出し、予算決算委員会において取りまとめ、その趣旨、内容等を政策形成への反映に特段の配慮を求める要望書を江原市長に提出しました。

要望的意見

- | | | | |
|----|--|----|--|
| 1 | 市税の徴収について、生活困窮や事業不振など個別の事情に寄り添い対応すること | 12 | 有害鳥獣の捕獲等による安全・安心の確保、IT機器活用による対策の効率化をすること |
| 2 | 本市の魅力の発信による職員の確保、事業の見直し、適正な人員配置による事務事業の効率化に努めること | 13 | 水産業における「ながとブランド」を確立し、安定した収益となるよう支援をすること |
| 3 | 市民活動支援センターにおいて市民活動団体の設立・運営に対して補助金・助成金の活用などの助言をすること | 14 | 市内事業者の事業形態に寄り添った形での経済対策を検討すること |
| 4 | 避難行動要支援者の未設置世帯に対して積極的に告知端末の設置を促すこと | 15 | 三隅地区工場用地整備事業について、企業との交渉等、迅速な対応に努めること |
| 5 | バリアフリー整備や取り組み支援により障害者等に優しいまちづくりを推進すること | 16 | 市民や事業者の意見等から改善を進め、デマンド交通利用者の満足度向上に努めること |
| 6 | 障害者が自らコミュニケーション手段を選択できる環境整備に取り組むこと | 17 | 市はマネジメント会社等と協力し、湯本温泉街のプロモーションに努めること |
| 7 | 加齢性難聴者に対する補聴器購入費助成制度の創設について検討すること | 18 | 道路利用者の安全確保、観光地としての環境美化、市民参加型の除草対策をすること |
| 8 | 定数にとらわれず、福祉系職員（保育士・社会福祉士等）の人材確保に取り組むこと | 19 | いじめのない教育環境の整備、不登校児童生徒と保護者に寄り添った支援をすること |
| 9 | 「ラジオ体操」や「やまぐち健幸アプリ」を活用し、さらなる健康対策に取り組むこと | 20 | 教員の長時間勤務改善への取り組みを充実させるため、人員配置の予算措置をすること |
| 10 | 合併処理浄化槽の維持管理費の負担を軽減するための対応策を検討すること | 21 | 文化財保存団体の活動に対する支援について補助事業の見直しも含めた検討をすること |
| 11 | 動物愛護団体の活動が持続可能となるよう運営費の支援を検討すること | 22 | 中学校部活動地域移行について丁寧な周知、意見聴取を行い、理解の促進を図ること |
| | | 23 | 学校や生産者、J A、J Fが連携し、食育を通じて子どもの健康増進に努めること |

要望書の詳細は
QRコードから閲覧できます。



所管事務 調査

外出の機会増加で自立した生活

生活交通の満足度向上

100歳まで楽しい農作業

女性中心で日替わりヒロインが誕生

10月30日（月）に、広島県神石高原町で「生活交通対策」について行政視察を行いました。

神石高原町は地形的な条件から山間に小規模集落が点在し、長門市と同じような交通課題を持っています。限られた予算内で利便性向上に取り組む中で導入した「乗り継ぎ制」は民間バスと町営バスとの乗り継ぎ料金の加算をなくし、町内のバス乗車に対して一律料金の300円で目的地まで利用できるサービスです。これは、利用者の安心感と利便性向上につながり、公共交通を維持して住民生活の下支えをしています。

また、「ふれあいタクシー事業」は1乗車・1目的地あたりの利用料金900円で町内どこにでも移動できるタクシー利用の助成事業で、完全なドアツードアを実現し、登録した住民には月に20回利用できるチケットを配付しています。利用者からは「若

い者に頼らず自立した生活ができる」、「外出する機会が増えた」等の好意的な意見が寄せられ、平成29年度に行ったアンケートでは満足度約94%という回答を得ています。利用者満足度向上を目指すものの「町外へも気軽に行きたい」、「緊急時など夜間も利用したい」等の希望を全て叶えることは財政面や既存の公共交通機関に影響を及ぼすことから、導入を保留しており、今後の取り組みとしては決済や予約・配車についてAIの活用等、DX化の必要性を課題として共有しました。

▼生活交通対策の説明を受ける



10月31日（火）に、島根県美郷町で「有害鳥獣対策」について行政視察を行いました。

有害鳥獣対策とは柵の設置と害獣の捕獲や駆除、山に生息する動物の頭数の制御が全てではありません。有害鳥獣対策の主役は住民、地域の人がいきいきと暮らせるまちづくりとセットで対策を行うとうまくいくという美郷町スタイルは、自助・共助と公助の関係性について考える機会となりました。

「美郷バレー課」課長を務める安田氏は、狩猟の中心でいたい農業者それぞれのニーズを調査してズレを把握し、農作物の旬である夏場の被害について主体である農業者への声掛けによって、猟友会任せではなく農業者自身で捕獲する組織の立ち上げを行われました。この取り組みについては自力・自費を基本とし、町の補助金に頼らず自分たちの活動費を自力

▼吾郷地域婦人会のみなさんと



で捻出しています。夏場に守り、冬場に捕獲。夏場の捕獲は加害獣のみ。農家が主体的に動くいきいきとした地域づくりを推進しています。

「吾郷（あごう）地域婦人会」の集会所の視察では、積極的に活動している婦人会や、メディアの取材や全国からの講演依頼で多忙な井上氏から、柔軟な価値観を持ち変化に素早く対応できる女性ならではの被害防止について話を伺うことができました。強烈な個性を発揮する「人」の存在、事業継続や地域活性化の決め手はやはり人であり人の魅力でした。

所管事務
調査

テーマ1 障がい者福祉の充実について

＜視察先＞ 社会福祉法人太陽の家、大分県別府市、
NPO法人自立支援センターおおい

テーマ2 子育て支援の充実について

＜視察先＞ 大分県豊後高田市（ぶんごたかだし）

大分県別府市では「別府市障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる条例」、通称「ともに生きる条例」について視察を行いました。

別府市は、障がい者福祉の先進地として歩んできた中で、民間団体の働きかけをきっかけに「ともに生きる条例」を制定しました。

条例制定に当たっては、障がいのある人やその保護者の意見の反映や市民の声を取り入れる機会を設けるなど、丁寧なプロセスを踏まえています。

条文には「障がいのある人への差別及び虐待をなくすための取り組み」や「差別等事案を相談、是正勧告、解決するための仕組み」、「相互理解の促進」、「合理的配慮の推進」、「親亡き後等の問題を解決するための取り組み」がうたわれています。委員からは、「障がいのある人もない人も、安心して安全に暮らせるまちになるよう努

▼特例子会社三菱商事太陽の視察時の様子



めなければならぬ。長門市はもつと福祉について学習する必要がある」「本市でも、障がいのある人を保護する親の死亡等の事由により障がいのある人を保護できなくなつた場合、残された障がいのある人は、その後どのような生活を送っていくのか。障がい者の親亡き後問題に対処するには、別府市の条例にあるように、様々な視点から問題点を洗い出し、この対策を総合的に行う必要がある、本市においても早急に取り組んでいかなければならない」などの意見がありました。

大分県豊後高田市では「子育て支援」について視察を行いました。

豊後高田市は、全国トップレベルの子育て支援を目指し、数多くの先進的な子育て支援策を展開しています。メディアでも数多く取り上げられており、「住みたい田舎」ベスト3に11年連続でランクインし、移住定住でも評価を得ています。豊後高田市では、地元のNPO法人と協働して子育て支援を行っており、子育て支援の財源には、ふるさと納税を活用しています。2018年に高校生までの医療費と公立幼稚園、小中学校の給食費の同時無料化を皮切りに、施策を進化させ、現在では妊娠前から高校生まで切れ目なく安心して子育てができる支援が行われています。具体的には、子育て応援誕生祝い金の支給をはじめ、保育料は年齢や世帯所得に関係なく無料、保育園、幼稚園、小中学校の給食費も無料としています。

また、幼児期から中学生までの無料の市営塾の運営に加えて、市内に唯一ある高校の生徒を対象とした本格的な授業指導を無料で行うなど、市営塾の機能強化を図っています。

さらに、市独自で高校生に対する支援に力を入れており、所得制限なく、市内の高校に通う全ての高校生の授業料を無料としています。委員からは、「本市でも、子育て中の親子が集まれる拠点があり、信頼できる人に悩みなどを話せる環境を整備する必要がある」などの意見がありました。

▼誰もが集える「子育て支援拠点ひろば」



障がいの有無にかかわらず誰もが安心して安全に暮らすことのできる共生社会

全国トップレベルの子育て支援を

本気で目指して

☀ 表紙の説明



消防出初式の起源は、江戸時代万治2(1659)年1月4日に、時の老中、稲葉伊予守正則が、上野東照宮前で顔見せの儀式「出初」を行い氣勢を上げたことが由来とされております。

出初式は、消防職員及び消防団員の士気を高めるだけでなく、市民の皆さんに消防への信頼や防災意識を高めることを目的としています。

表紙は1月7日に行われた出初式の最後を飾る各消防団による一斉放水の様子です。

☀ ご案内



←長門市議会
フェイスブック
QRコード



←長門市議会
Instagram
QRコード

☀ まちの声



京谷 博志 さん(75歳)
西深川在住

長門市議会に関してインタビューを行いました

Q 議会だよりを読まれていますか。

A 広報と合わせ毎回読んでいます。

Q 議員定数や議員報酬についてどう思いますか。

A 定数については、人口減少も進んでおり、検討をする時期ではないかと思います。報酬は、多いとは思いませんが、税金であることを忘れないでほしいです。

Q 市民の声が市政に活かされていると思いますか。

A 全てが活かされているとは思いません。湯本の「憩いの場恩湯」の料金、駐車場問題は残念だと思います。近松道路公園ですが、日頃から利用者が少なく、施設がもったいなく思います。こちらは県の管轄とお聞きしていますが、同じ税金で対応される訳ですので、市としても対応を検討してほしいと思います。

Q 議会や議員に望むことはありますか。

A いつも議会中継を拝見しています。皆さん頑張っておられますが、一般質問で同じ内容を質疑されておられるのを見受けますが、もう少し調整はできないかと思います。

☀ 編集後記

▶ 1月1日午後4時10分頃、石川県能登地方を震源とする地震があり、志賀町で震度7の揺れを観測しました。この震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、全ての被災者の方々に心からお見舞いを申し上げます▶元日に、震災が起きたことに驚き、災害は人間の都合

とは関係なしに、いつ、何処で発生するかわかりません。本市では、幸いにも大きな災害は発生していませんが、日頃から災害への備えが必要であることの大事さを痛感しました▶これから避難生活も長期化すると予想されますが、一日も早く復興することをお祈りします。(米弥)

ながと市議会だより
発行/山口県長門市議会
編集/広報広聴常任委員会

委員長	ひさなが 信也
副委員長	田中 千秋
委員	林 哲也
	綾城 美佳
	田村 大治郎
	米 弥 又 由